



関まさゆき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

防災へ、日常でも、災害時にも

「フェーズフリー」導入を

9月定例県議会一般質問



一般質問に臨む関政幸県議

公平・公正な社会の実現を目指す関政幸県議（千葉市緑区選出、4期）は9月定例県議会で登壇し、フェーズフリーの導入やがんセンター治療装置ハイパーサーミアの稼働状況、AEDの屋外設置などについて県執行部に質問しました。心肺疾患で倒れた人の蘇生のために、AEDがさまざまなところに設置されていますが、関県議は屋外に設置するなど、24時間365日、だれもが使えるような配置を考えてほしいと要望しました。関県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

関議員 災害のために特別に備えるのではなく、日常の物が災害時にも役立ち、あるいは災害用の物が日常でも役立つという「平時と災害時を問わず施設や物品等を活用する考え方」、いわゆるフェーズフリーの考え方については、政府の骨太の方針に記載されるようになり、また、今議会で審議中の新総合計画案にも記載されている。

新総合計画案への記載を受けて、今後、フェーズフリーの考え方を取り入れた防災力の向上に繋がる取組みをどのように進めていくのか。また、全職員が意識を高めるための研修の実施や、庁内でアイデアやノウハウの蓄積と実践の好循環を構築していくべきではないか。

県有施設整備へ積極的に導入を

関議員 県有施設の整備において、フェーズフリーの考え方をより積極的に取り入れるべきではないか。また、県有建物長寿命化計画に、その取組みを明記すべきと考えるがどうか。

知事 県有施設は、災害時には防災施設としての役割を担うことから、施設整備に当たっては、平時時と災害時との状況を区別しないフェーズフリーの考え方を踏まえていくことは重要と認識しています。

このため県では、防災拠点となる合同庁舎において、太陽光発電設備や蓄電池を

設置するほか、災害対策本部の支部としての機能を發揮するため、複数の会議室の間仕切りを可動式として、大規模な会議スペースとして使用できるようにすることなどを、原則として、整備を進めているところです。

フェーズフリーの考え方については、今後も積極的に取り入れながら、防災力強化に資する県有施設の整備などを推進するとともに、新たな総合計画の策定を踏まえ、県有建物長寿命化計

校や公共施設において、太陽光発電設備や蓄電池の整備を進めるとともに、電気自動車や災害時に電源として活用する取組みなど、フェーズフリーの考え方を取り入れた施策を進めてきたところです。

今回、新たに総合計画案にフェーズフリーの考え方を明記したことを契機に、さらに取組みの幅が広がるよう、

本年度、避難所に指定されている県立学校の体育館の空調整備に着手したところであり、順次整備を進めてまいります。

可搬式の空調設備は、災害時や空調整備完了後に学校間で移動して使用するなど柔軟な活用ができることから、フェーズフリーの考え方を踏まえ、財源等も含めて、防災部局等と連携・相談しながら、他の自治体の取組み状況等を研究してまいります。

関まさゆき県議プロフィール

- 略 歴 ■
- 1998年3月 県立千葉東高校卒業
 - 2002年3月 早稲田大学商学部卒業
 - 2005年10月 司法試験合格
 - 2007年9月 司法研修所終了 弁護士登録
 - 2011年4月 県議会議員に初当選（現在4選）

- 現 職 ■
- 県議会 文教常任委員会委員
がん対策審議会委員
 - 自民党県連 青年局部長、副幹事長、政務調査会副会長、児童虐待防止対策推進プロジェクトチーム副座長他

要望
関議員 長寿命化計画への明記を速やかに行うよう要望する。

●千葉市緑区と県政についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

関 政 幸

県 議 会 議 事 務 所

千葉市緑区あすみが丘 3-51-10
TEL.070-8451-9210
FAX.043-291-5526

がん医療機器「ハイパーサーミア」

がんセンター新病院に導入

3年で稼働1.5倍

関議員 熱に弱いがんの特性に注目した温熱治療の医療機器であるハイパーサーミアは、平成30年12月議会で導入を求める請願の採択と、医学的観点などを求めた付帯決議を受けて、令和2年10月、がんセンター新病院に設置された。稼働開始からもうすぐ5年になるが、その稼働状況はどうか。

病院局長 ハイパーサーミアは、令和2年10月に新棟が開院した際、それまで県内において他に保有する医療機関がなく、都道府県がん診療連携拠点病院であるがんセンターとして、治療の選択肢を広げることが有意義であるため、導入したものです。

導入直後の令和3年度の稼働件数563件に対し、直近の令和6年度は843

件となっており、稼働件数は年々増加しています。

導入費用の回収間近

関議員 医学的観点からのがん患者への治療効果や経営的観点からの費用対効果をどう捉えているか。

病院局長 ハイパーサーミアは、がんに対する電磁

波温熱療法であり、放射線治療や化学療法と併用することによって治療効果を高めるとされています。

経営的観点からの費用対効果については、稼働件数の増加に伴い、医療収益も増加しており、現在の傾向が続けば、数年後には導入費用を回収できる見込みと

なっております。

がんに対しては、様々な治療法がありますが、今後の医療の進歩に合わせ、ハイパーサーミアの活用も含め、患者の病状に応じた良

県内浄水場の大部分

震度7まで耐震

関議員 県営水道において、各浄水場で浄水を作る

という基本的な観点から、取水施設から導水管を通じて5つの浄水施設について、レベル2地震動、震度6強から震度7までの対応が全て完了しているところは、どの浄水場か。

企業局長 県営水道の5つの浄水場施設のうち、江戸川から取水している「ちば野菊の里浄水場」については、平成14年度に整備を始めた比較的新しい施設であることから、取水施設から浄水施設までの一連の施設で、震度6強から

質かつ適切な医療の提供ができるよう努めてまいりたいと考えています。

要望

関議員 利用状況は良いということだが、県病院局の経営は全体

として厳しい状況にあると伺っている。引き続き、このハイパーサーミアを含めて、公立病院だからこそ期待される役割を果たしていただきたい。

7程度、いわゆるレベル2地震動に対応しているところだ。

その他の整備から長い年数が経過している4つの浄水場においても、関連する取水施設等も含め、大部分はレベル2に対応しているところですが、施設の一部については未対応となっております。

震災に備え浄水場バックアップ体制

関議員 各地域が送配水管でつながっているネットワ

菅田交番の移転検討

関議員 JR外房線の菅田駅前の交番の設置について、将来的にどうか。

警察本部長 交番設置は、地域の治安情勢や人口・世帯数などのほか、既存の警察施設などとの位置関係を考慮し、総合的に判断してきたところですが、治安情勢や今後の人口動態等を踏まえると、県下の交番・駐在所の総数を増やすことは、現状においては、困難と考えております。

しかしながら、菅田駅周辺の整備事業の進展状況等を踏まえつつ、現在設置している最寄りの菅田交番の建替時期を捉え、同交番移転の要否について、検討してまいりたいと考えております。

屋外にAEDを設置

人命救助の可能性向上へ

関議員 公共施設における屋外のAED設置の取組み状況はどうか。

保健医療担当部長 公共

施設において、管理者の不在時や施設の利用時間外であっても誰もが使用可能な

屋外にAEDを設置することとは、AEDの使用率を向上させ、人命を救う可能性を大きく高めることに繋がるものと考えています。

このため、県では今年度、施設の利用時間外でも人通

りが多く、AEDの屋外設置が可能な状況にある県有施設として、千葉ポートパーク、富津公園、流山区画

整理事務所、東葛飾地域振興事務所の4か所を試験的に選定し、年度内の設置を

進めているところです。

今後は、これらの施設における具体的な利用状況の検証等も行いつつ、市町村等に屋外設置の事例を紹介

し、設置を呼び掛けることなどにより、誰もが要救助者に対してAEDを使用できる環境づくりに取り組んでまいります。

AEDでの心肺蘇生試み

7年間で403件

関議員 条例の制定から現在まで、本県でAEDの使用や心肺蘇生法の実施が

行われたケースは累計で何件か。

保健医療担当部長 本県

におけるAED使用等の件数については、総務省消防庁が調査している、救急搬送の対象となった心肺機能停止症例のデータにより把握しています。

これによると、千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例が施行された、平成29年から令和5年までの7年間で、

心原性心肺機能停止における心肺蘇生法の実施は4821件であり、このうちAED

Dが使用された件数は493件となっております。

要望

関議員 条例では、9月は「AEDで命を救う勇気を持つ月間」と定めている。AED推進

に関する施策の状況を、確認していただく機会にもしていただきたい。

出来る限り、24時間365日、誰もが使える仕様のものを、効果的かつ効率的に配置していくよう、引き続き要望する。